

大学・高専機能強化支援事業（支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）  
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F134210109822	設置等組織名	情報工学部情報工学科
大学名	福山市立大学	設置区分	公立	事業計画名	学部の新設
学校種	大学	都道府県	広島県		

1.フェーズ別の計画及び取組状況

フェーズ別の事業計画と取組状況、年度別の自己評価を記載してください。

当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
フェーズ1	1-① 令和5年9月～令和5年12月 1-② 令和5年10月～令和6年3月 1-③ 令和6年4月～令和8年3月 1-④ 令和6年10月～令和7年9月 1-⑤ 令和6年6月～令和7年2月 1-⑥ 令和7年3月～令和7年12月	現状分析と人材ニーズを確認するため、企業・学校等へのヒアリングとアンケート調査を実施 基本構想策定のため、産業界等の有識者を含む基本構想検討委員会を開催 基本構想を具体化した教育課程や教員選考等を協議するため、学部長予定者を中心とする準備委員会を開催 他機関と連携した教育体制を構築するため、福山商工会議所等とPBL演習やインターンシップ科目について協議 学部での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜について検討 入学生の確保、卒業生の就業意向等に関する調査を実施	1-① 令和5年6月～令和5年12月 1-② 令和5年10月～令和6年3月 1-③ 令和6年4月～令和8年3月 1-④ 令和6年9月～令和7年9月 1-⑤ 令和6年6月～令和7年3月 【改組内容】 令和5年 情報工学部情報工学科について、定員を50人から80人に変更して検討中	R5年度自己評価 【3】計画を十分に実施している。 国の助成金の趣旨や人口減少を踏まえた今後の本学の在り方について検討委員会と議論し、既存学部（都市経営学部）の入学生定員を150人から120人に30人減らし、新学部の入学生定員を50人から80人に30人増やす方向となったため。  R6年度自己評価 【3】計画を十分に実施している。 令和5年度に策定した基本構想の具体化に向け、学部長予定者を中心とする準備委員会を開催し、教育課程や教員選考等に係る協議、他機関と連携した教育体制の構築に向けた各種調整を着実に進めることができた。
	フェーズ2 前期	① 令和7年4月～令和7年6月 ② 令和7年4月～令和7年6月 ③ 令和7年7月～令和8年3月	新学部棟の建設用地の確保と地質調査の実施、地元説明会の開催 新学部棟の基本・実施設計の実施 新学部棟の建設着工	① 令和7年1月～令和7年6月 ② 令和7年2月～令和7年10月 新学部棟の建設用地の確保と地質調査の実施、地元説明会の開催 新学部棟の基本・実施設計の実施  R6年度自己評価 【3】計画を十分に実施している。 学部開設時までには新建設が間に合うよう、新学部棟の建設用地の確保及び地質調査の実施、新学部棟の基本設計・実施設計に前倒し着手したため。
認可申請又は届出	① 令和8年4月 認可申請も視野に入れて検討	情報工学部情報工学科 設置届出予定（準備状況に応じて令和8年3月の設置		
フェーズ2 後期	① 令和8年4月～令和9年3月 ② 令和8年4月～令和9年3月	PBL演習やインターンシップ科目の調整、実施のための企業との調整 入学生の確保に向けた広報（オープンキャンパス、ガイダンス）、入学者選抜の実施	○年度自己評価 リストから選択してください。	
	① 令和8年4月～令和9年3月 ② 令和8年4月～令和9年3月	新学部棟の建設工事、外構整備 新学部棟の教育環境整備のための設備などの整備	○年度自己評価 リストから選択してください。	
開設又は定員増	① 令和9年4月	情報工学部情報工学科開設予定（入学生定員50人、工学関係）		
フェーズ2 後期			○年度自己評価 リストから選択してください。	
	① 令和9年4月～令和13年3月 ② 令和9年4月～令和13年3月 ③ 令和9年4月～令和13年3月 ④ 令和9年4月～令和13年3月 ⑤ 令和9年4月～令和13年3月 ⑥ 令和9年4月～令和13年3月	PBL演習やインターンシップ科目の実施のための企業等との調整・実施 多様な入学生の確保に向けて、地域の初等中等学校との連携のため、出前講座や学内見学会の実施 多様な入学生の確保に向けて、女子中高生を対象とした学部説明会の実施 多様な入学生の確保に向けて、社会人・企業のリスキングのニーズに応える公開講座の実施 多様な入学生の確保に向けて、海外の国際交流協定校を増やすなど 留学生の受入体制の充実等を図る 地域社会や産業界のニーズに応える学部となっているかどうか、アンケート等により効果を検証	○年度自己評価 リストから選択してください。  ○年度自己評価 リストから選択してください。  ○年度自己評価 リストから選択してください。	
定員減又は学部等の廃止				

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	福山市立大学
-------------	-------	-----	--------

2. 申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

- i) 学生募集停止中の大学  

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学  

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額措置を受けた大学  

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学  

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- v) 大学、短期大学及び高等専門学校等の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学  

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

3. 申請要件の取組状況

令和6年度 の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。					
	<table border="1"> <tr> <td>確認を受けている</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> <tr> <td>確認の対象に該当しない</td> <td><input type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	確認を受けている	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	確認の対象に該当しない	<input type="checkbox"/> チェック	
確認を受けている	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
確認の対象に該当しない	<input type="checkbox"/> チェック					
②	十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な資保証の特組みを活用するなど出口における資保証にも十分留意することが重要。）					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
④	特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑤	計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑥	特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑦	学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑧	入学定員が20名以上増加する計画であること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑨	事業計画の道定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる、又は設置等を行った</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑩	大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑪	フェーズ3の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	福山市立大学
-------------	-------	-----	--------

②	計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。	
	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
③	選定された大学は、公算要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十九条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文科科学大臣諮問）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。	
	計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
④	文科科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	
	認定を受けておらず申請する意向もない	<input checked="" type="checkbox"/> チェック

**4. 審査要項における確立項目の計画及び取組状況**

令和6年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合限り記載は不要です。

**【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目に限らない）**

- チェック a. 企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- チェック b. 関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- チェック c. 関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
<p>本学では、既存の学部においても、企業や自治体と連携したPBL演習科目の実施等に積極的に関わり、情報通信系企業と連携したデジタル人材育成に向けた講座等の開講のほか、ビジネスアイデアを提案・評価するコンテストの実施、福山市と連携した地域課題解決プロジェクトへの参画等を行っている。新学部においても、企業や自治体との連携の下、PBL演習科目の配置により、自ら問題を発見し解決する力を育成するとともに、AIデータサイエンスを実装したビジネスプランの作成につながる授業科目や、新しい情報システムの開発につながる授業科目の配置により、地域の企業や社会のデジタル推進を支える人材を育成することを検討する。また、企業や自治体等とのインターンシップにも力を入れ、大学での学びを生かして実際の現場での課題や組織での業務に取り組むことで、学びの深化につなげる予定である。</p>	<p>令和5年度に取りまとめた新学部設置基本構想に基づき、新たに設置する情報工学部では、地域のデジタル化やイノベーションの創出等に資する実践的かつ専門的な教育研究活動を展開し、地域の発展・企業の成長の原動力となる理工系人材を育成することとしている。そのために、企業や地域と連携したPBL演習科目や福山市のものづくりを支える演習・実習科目を多く配置するとともに、企業や自治体へのインターンシップを必修科目とする方向とし、大学の学びを実社会で活かせる即戦力となる人材を養成する予定である。</p> <p>令和6年度においては、学部長予定者を中心とする新学部設置準備委員会を8回開催し、教育課程の具体化に向けた検討を行った。PBL演習における連携企業やインターンシップ先の開拓を目的とした企業訪問等（ホームコース・メンター制度等）を延べ22回行った。</p> <p>引き続き、令和7年度においても、連携企業の開拓を続けるとともに、新学部設置準備委員会や連携企業・自治体との調整の中でPBL演習及びインターンシップの具体を固める予定としている。</p>	

**【B：多様な入学者の確保に向けた取組】**

- チェック a. 入学者選抜における科目の見直し
- チェック b. 女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- チェック c. 地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- チェック d. 社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
- チェック e. 留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
<p>女子学生の確保については、出張講義や学部説明会において女性研究者が活躍するロールモデルを提示すること等により、女子中高生への理工系の新学部への選択にもなげる予定である。また、現在、県内外の高等学校へ行っている出張授業については、福山市内の小学校・中学校へも対象を広げ、デジタルデモショーの向上とともに、早い段階から理工系の学問分野への興味と関心をもってもらい、将来の進路選択につなげていく。加えて、AIデータサイエンスなどの専門性やスキルの学び直しプログラムとして公開講座等の開催により、社会人・企業のリスキリングのニーズに応える中で、社会人学生の確保につなげることをめざす。さらに、海外の国際交流協定校を増やすことも検討し、留学生の受入れ体制の充実も含めて、留学生の確保についても検討する予定である。</p>	<p>女子学生を含む志願者の確保に向け、中国エリアを中心とした高校訪問を229校に実施するとともに、新学部リーフレットを全国延べ1200校に配布した。その他にも、オープンキャンパスにおいて情報工学を身近に感じることのできる体験ブースを設けるなど、様々な機会を捉え、各種広報活動を展開した。</p> <p>地域の初等中等教育段階の学校との連携については、令和6年度の新学部設置準備委員会において検討したカリキュラム内容を踏まえた出張授業を令和7年4月着任の早期前任教員を中心に展開し、高等学校・小学校・中学校の生徒にデジタル技術や学習・体験できる機会を提供することで、理工系の学問分野への興味と関心を醸成する取組を行う予定としている。</p> <p>社会人の受入れ強化に向けた取組については、令和6年度に実施した企業訪問等（延べ22回実施）で得たニーズを踏まえ、引き続き新学部設置準備委員会において、公開講座等、リカレント・リスキリングプログラムを検討する予定としている。</p> <p>留学生の受入れ強化に向けた取組については、令和6年度に新たに5大学（ガルム・ブルサグ大学、ウィークラス・マグナス大学、長春大学、ザグレブ大学、ハノイ工科大学）と協定を締結し、海外の国際交流協定校が計17校となった。今後も継続して、留学生の確保に取り組むとともに、留学生の受入れ体制充実に向けた検討を重ねる予定である。</p>	







大学名	福山市立大学
-----	--------

### 3.大学（学士課程）の状況

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	
大区分	小区分	項目	単位																				
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	250	250	250																	
		入学者数	人	274	258	264																	
	その他の学期	入学定員	人	***	***	***																	
		入学者数	人	***	***	***																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	250	250	250																	
		入学者数(B)	人	274	258	264																	
		入学定員充足率 (B/A)	倍	1.10	1.03	1.06																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	1000	1000	1000																	
		編入学定員	人	0	0	0																	
		在籍者数(D)	人	1073	1080	1080																	
		編入学者数	人	0	0	0																	
		収容定員充足率 (D/C)	倍	1.07	1.08	1.08																	

### 4.外部資金の状況（全学）

年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況			選定-5年	選定-4年	選定-3年	選定-2年	選定-1年	選定													
項目	単位																				
外部資金獲得額	千円		25,256	31,404	26,327	35,109	30,207	38,497	95,258												

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 (過去5年間に於ける各年度の外部資金獲得額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の平均) (E)	千円	29,313
本事業による助成金の額(F)	千円	420,000
フェーズ3の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	39,813

#### 特記事項

福山市立大学学則第25条において、「本学への編入学を志願するものがあるときは、欠員がある場合に限り、選考の上、相当年次への入学を許可することができる」と規定されている。  
「2.理・工・農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況」に記載する都市経営学部都市経営学科、「3.大学（学士課程）の状況」に記載する都市経営学部都市経営学科及び教育学部教育コース及び保育コースのR5、R6、R7年度の収容定員等の編入学定員・編入学者数については、欠員がないため0人と記載をしている。